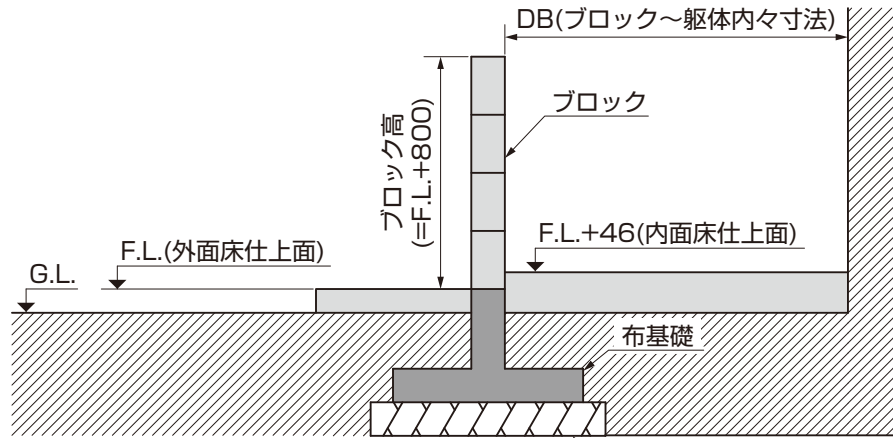


LIXIL ココマⅡ 湿式腰壁ブロック施工の注意ポイント

- 本説明書はココマⅡ湿式腰壁の腰壁ブロックを施工する際に注意頂きたいポイントを示します。
- 製品の取付け方法については本体の取付説明書を参照ください。

1. 腰壁ブロックと床仕上げの関係 ※図は前面腰壁の場合を示します。



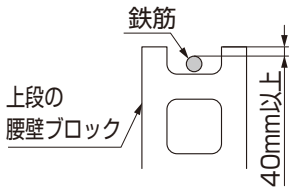
①腰壁ブロックと床仕上げ面の関係性を確認してください。

図1-1

2. 腰壁ブロックの建込み

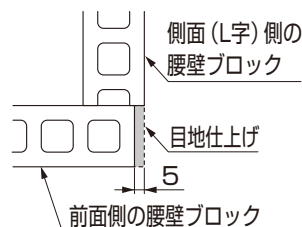
ポイント

- 上段の腰壁ブロックへ配筋の際は鉄筋が40mm以上の深さになるようにしてください。

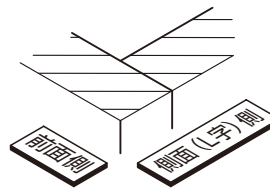


ポイント

- 前面側と側面 (L字) 側の腰壁ブロックは目地仕上げ面が揃うようにしてください。



- 腰壁ブロックの天面は前面側と側面 (L字) 側に段差がなく、平滑に仕上げてください。



ポイント

- 腰壁ブロックを施工する場合は、躯体 (垂木掛け取付け面) との距離に注意して施工してください。 ※腰壁ブロックから躯体までの距離が±5mm程度なら位置調整が可能です。

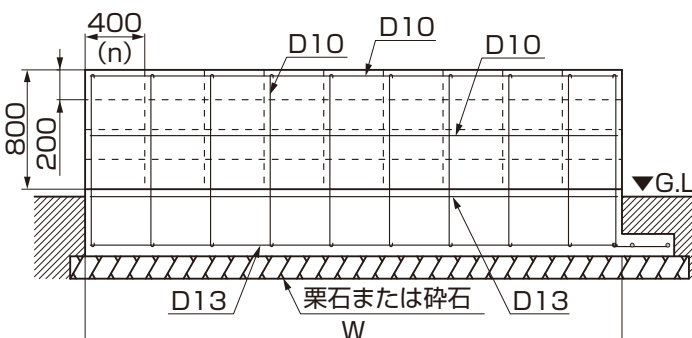
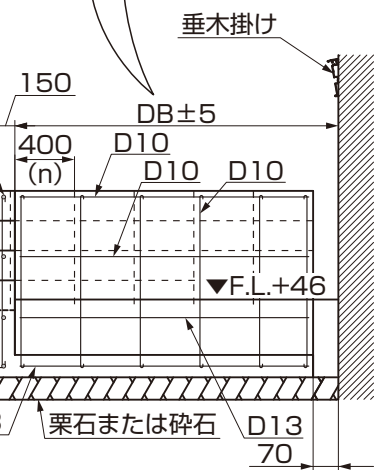


図2-1 前面側

D10、D13：鉄筋呼称

図2-2 側面 (L字) 側

ポイント

- 布基礎の天面は、F.L.+0mm (=G.L.+50mm (一例)) が基準です。 ※+50mmは現場状況に合わせて変更してください。
- ガーデンルームタイプで内面立ち上げる場合、立ち上げ部の内面床高さはタイル等 仕上げ含め F.L.+46mmとなります。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で施工する場合には、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- 腰壁ブロックの建込みは、指定の材料を使用してください。(表2-3参照)
- 腰壁ブロックの縦目地は、すき間のないように埋めてください。
- 腰壁ブロックは全面に適切な防水処理を行なってください。

2. つづき

表2-1 前面側 腰壁ブロック寸法

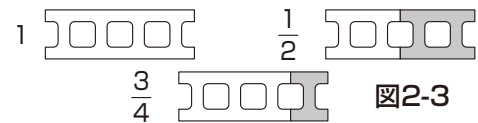
間口	前面腰壁		L字腰壁/入隅腰壁	
	n (列)	W (mm)	n (列)	W (mm)
1.0間	6	2400	5	2000
1.5間	8	3200	7 + 1/2	3000
2.0間	10	4000	9 + 1/2	3800
2.5間	12	4800	11 + 3/4	4700
3.0間	15	6000	13 + 3/4 + 1/2	5700
3.5間 (2.0間 + 1.5間)	16 + 1/2	6600	16 + 1/2	6600
4.0間 (2.5間 + 1.5間)	19	7600	18 + 3/4	7500
4.5間 (3.0間 + 1.5間)	21 + 1/2	8600	21	8400
5.0間 (2.0間 + 3.0間)	23 + 1/2	9400	22 + 3/4 + 1/2	9300
5.5間 (3.0間 + 2.5間)	26	10400	25 + 1/2	10200
6.0間 (3.0間 + 3.0間)	28 + 1/2	11400	28	11200
間口延長 (+ 1.0間)	+ 4	+ 1600	+ 4	+ 1600

表2-2 側面 (L字) 側 腰壁ブロック寸法

出幅	n (列)	DB(mm)
4尺	2 + 3/4	1182
6尺	3 + 3/4 + 1/2	1782
8尺	5 + 3/4	2382
10尺	6 + 3/4 + 1/2	2982

表2-3 使用材料

コンクリート	普通コンクリート Fc=18N/mm ²
鉄筋	SD295A JIS規格品
コンクリートブロック	空洞ブロック JIS規格品 A種以上



3. 腰壁ブロックの防水処理

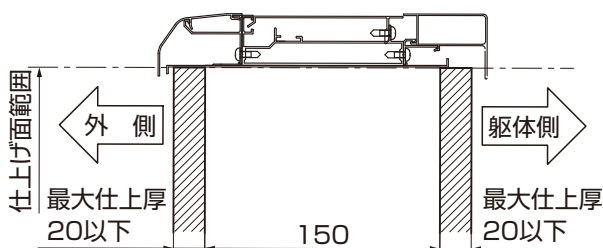
ポイント

- 腰壁ブロックの設置条件などにより必要な防水処理が異なります。本内容は目安としてご活用ください。
※効果を保証するものではありませんのでご了承ください。

表3-1

防水処理方法	目安			製品例
	防水効果	材料コスト	施工性	
防水モルタルにて下地仕上げ	○	△	◎ 通常の仕上げと同様	(株)エム・シー・シー製 「防水ドライモルタル」
モルタルに防水剤を混入して下地仕上げ	○	○	◎ 通常の仕上げと同様	(株)マノール製 「マノール 特殊防水剤」
モルタル下地仕上げ後に防水処理	○	△	○ 塗装手間	(株)エスビック製 「SBマックス」「アクアシール」
防水ブロックを使用	△	△	◎ 通常の仕上げと同様	

4. 腰壁ブロックの表面仕上げ



ポイント

- 腰壁ブロック自体の防水のため、必ずタイルまたは塗りにて仕上げをしてください。
- 仕上げ面範囲より上に仕上げした場合、腰壁ブロック天面からの排水が阻害され、水が溜まるおそれがありますので、仕上げは範囲内で行なってください。
- 本体フレーム、腰壁部の施工後に仕上げをしてください。本体フレーム、腰壁部の施工前に仕上げを行なうと、ガーデンルームタイプの場合、調整縦枠が取付けできなくなります。

【カウンターテーブルを取付ける場合】

「E378 カウンターテーブル 取付説明書」も併せて確認し、テーブル腰壁取付台座を取付け後に仕上げをしてください。

取説コード

E421

JZZ631185B
201602A_1039
202007C_1049